

# イントロダクション 「アカデミック・リンクの理念と活動」

竹内 比呂也  
アカデミック・リンク・センター長

# 「アカデミック・リンク」とは

- 千葉大学が実践している図書館機能をベースにした新しい学習環境のコンセプト
- 研究開発機能を担う「アカデミック・リンク・センター」(附属図書館, 総合メディア基盤センター, 普遍教育センターが協力して設置)と実際にサービスを提供する「附属図書館」が中核となって推進
  - 2011年4月1日 センター設置
  - 2012年3月16日 図書館リニューアルオープン

## アカデミック・リンクによる千葉大学の教育改革

目的:「考える学生の創造」

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ学生の育成

## アカデミック・リンク

「学習とコンテンツの近接」による能動的学習の実現

コンテンツ構築・提供、情報基盤、人的支援、学生のニーズに適した学習空間の統合・連携による学習・教育の革新

アクティブ・ラーニング・スペース

コンテンツ・ラボ

ティーチング・ハブ

千葉大学中期目標・計画&lt;教育方法改善への取組、アクティブ・ラーニングの重視&gt;

## 大学に対する社会的要請

- 知識基盤社会、学習社会における市民の育成
- 高等教育のグローバル化の中での質の維持・向上
- 職業人としての基礎能力、創造的人材の育成

「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日、中教審答申)

## 学生のニーズ

- 自由に使える学習スペース
- 文章作成力、ディスカッション能力、問題解決能力
- 英語によるコミュニケーション能力

「千葉大学の教育・研究に対する意識・満足度調査報告書」(平成21年度)

授業

「授業資料ナビ」

CONTENT

動画教材、授業映像

伝統的  
図書館蔵書

電子  
ジャーナル・e-books

誰でも  
使える  
Web上の  
資源

「1210あかりん  
アワー」

PLACE

教材・  
教科書の  
電子化

レファ  
レンス  
デスク  
@AL

オフィ  
スア  
ワー@  
AL

ALSA-  
LS

CURAT  
OR(機  
関リポジ  
トリ)

SUPPORT

ブックツリー  
(見せる書棚)

「見る」  
「見られる」空間  
での活動

## 学生から見たアカデミック・リンク

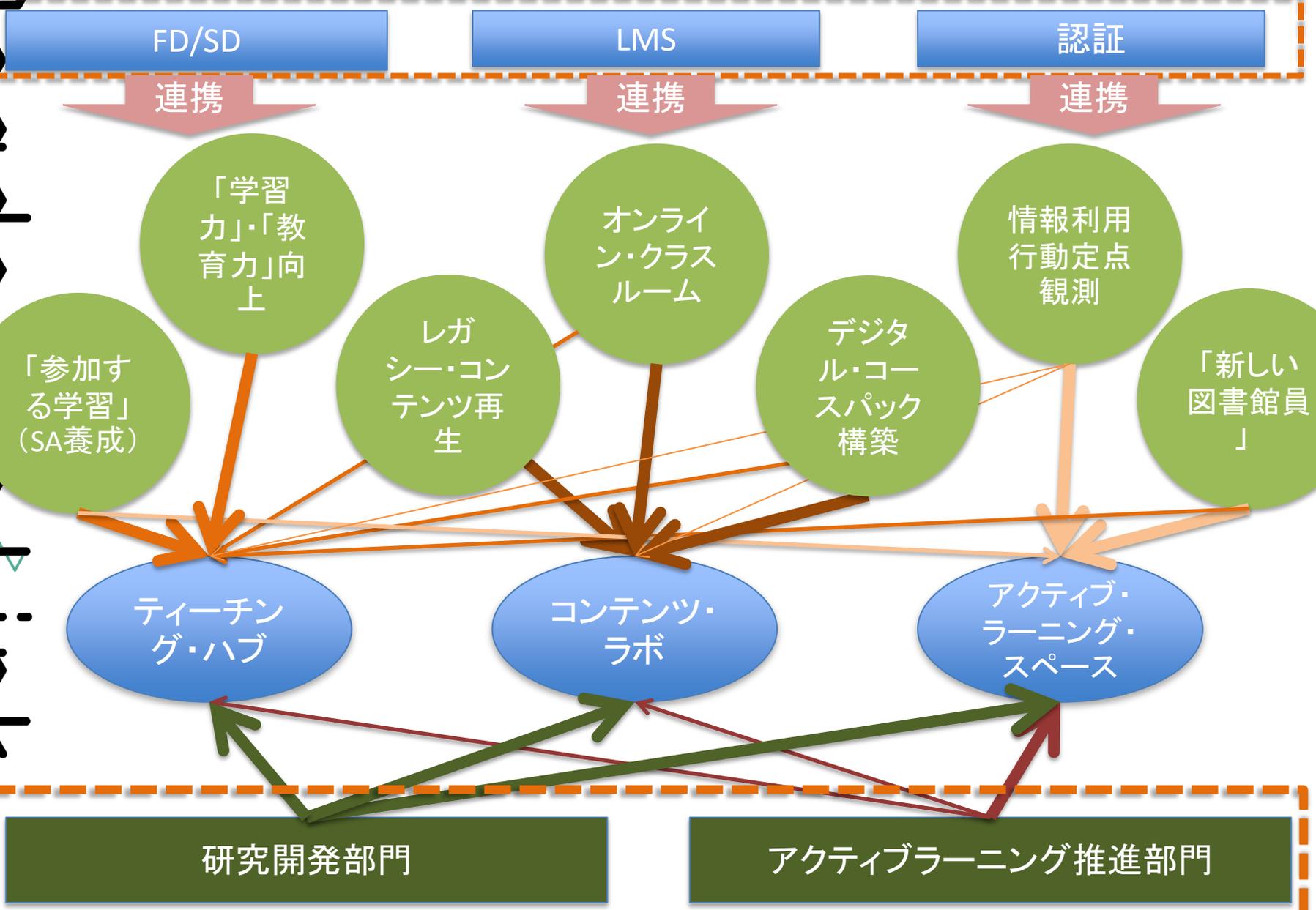
「学び」に導く刺激にあふれた場所, 学びの基盤としてのコンテンツ, 人的サポート



# アカデミック・リンク機能実現のためのプロジェクト構築と組織

Academic Link

Academic Link Center



アカデミック・リンク・センター

# 各プロジェクトの概要

プロジェクト名	概要
「レガシーコンテンツ再生」プロジェクト	すでに刊行されているパッケージ型メディア(図書、ビデオなど)の電子的再生と学習における利活用のための提供環境を整備する。
「デジタルコースパック」プロジェクト	自作教材、著作物の一部など、これまで教室での配布にとどまっていた授業資料の電子的パッケージ化を実現し、提供環境を整備する。
「オンラインクラスルーム」プロジェクト	授業の動画配信を中心とするe-learning環境を整備し、実施する。
「情報利用行動定点観測」プロジェクト	学生の学習行動と学習成果の関連を、情報利用行動と学習／生活空間の利用状況から継続的、横断的に検証する(調査の実施、分析)。
「参加する学習」プロジェクト	アクティブ・ラーニング・スペースでのコンテンツを利用した「学生による学生のための学習相談」を実現し、そのためのアカデミック・リンクによる体系的SA研修を構築する。
「教育力」・「学習力」向上プロジェクト	学生、教職員によるアカデミック・リンク機能についての理解と活用を促し、学習、教育にかかるスキルの向上を実現する(セミナー、シンポジウム、FDの実施)。
「新しい図書館員」プロジェクト	学習に関与する新しい図書館員概念を確立するとともに、彼らを中心に、教員、図書館員、学生の協働を基礎とする個別的学習支援モデルを構築し、実施、評価する。

# 千葉大学附属図書館, アカデミック・リンク・センターの建物構成

書庫・静寂な閲覧席

書庫的空間

研究開発, コンテンツ・ラボ, ティーチング・ハブ

学生支援センター  
(厚生施設)

図書館新館  
(愛称: L棟)

図書館旧館  
(愛称: K棟)

東棟(増築)  
(愛称: I棟)

書店  
2014年10月  
オープン

南棟(増築)  
(愛称: N棟)

アクティブ・ラーニング・スペース

かたらいの森



<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本線 600<sup>2</sup> グレーティング露付</li> <li>○ 下排水露付 600<sup>2</sup></li> <li>○ 排水露付 100<sup>2</sup></li> <li>○ 50%グレーティング</li> <li>○ 蓋検口 500×500×1,000 H1,800</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縦引線管</li> <li>○ プレース化露付</li> <li>○ 隠蔽ドレンを示す</li> <li>○ 配:100<sup>2</sup></li> <li>○ 丸露を示す</li> </ul>	<p>千葉大学施設環境部</p> <p>千葉大学(西千葉)附属図書館新館その他工事</p> <p>設計 監理 建築 電気 設備</p>		<p>0950-010 千葉大学(西千葉)アカデミックリンク新館その他工事設計業務</p> <p>1層平面図</p> <p>縮尺 1/200</p> <p>2/8</p>
--	---	---	--	---

# 空間の基本的考え方

- 開放性, 透明性の高い空間 (「見る」, 「見られる」環境)
- 機能分化 (静寂空間 / 討議空間)
- 利用における自由度が高い (N棟: 机, 椅子, ホワイトボードを自由に動かしてよい)
- 多様性の確保
  - PC席も1人使用のみを想定しない

# コンテンツの提供の基本的考え方

- 学生が利用したいときに、電子媒体でも印刷媒体でも迅速に入手できるようにする。図書館蔵書にこだわらず、購入も一つの選択肢として考える。教材の作成支援も視野に入れる。
- コンテンツとして以下のようなものを想定
  - 1) 公刊された出版物に代表される著作物
  - 2) 著作物の一部(あるいは全部)を再パッケージ化した教材(コースパック)
  - 3) 授業録画(授業中に提示される著作物がその中に含まれる)
  - 4) 著作物の一部を利用して、教員が独自に作成した教材
  - 5) 完全にオリジナル作成された教材

# 人的サポートの基本的考え方

- 学生，図書館員，教員によるハイブリッドな人的サポートをスタート。
  - 学生，図書館員，教員がどのような役割を担うべきか，試行錯誤的に追求
    - 「学習支援デスク」(ALSA-LS)
    - 「レファレンス・デスク」
    - 「オフィスアワー@アカデミック・リンク」